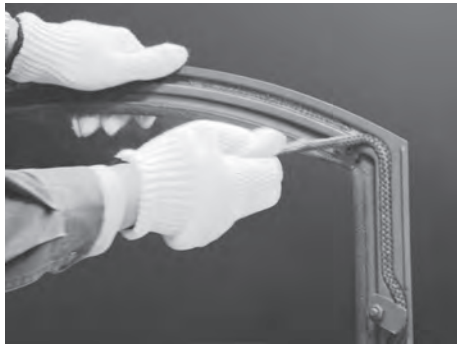


1. マイナスドライバーをガスケットのつなぎ目に差し込んで、ガスケットの端を取り出します。



2. ガスケットを、溝から引きはがします。



3. 溝についているガスケットセメントやガスケットの繊維を、マイナスドライバーなどで取り除きます。



ガスケットセメントを取りきれない場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパーで溝をならします。細かいホコリなどはウエスで拭き取ります。



4. 新しいガスケットセメントを溝に充填します。



5. ガスケットを溝にぴったりと貼ります。



6. 余分なガスケットを切り取ります。ガスケットの端は、浮かないようにしっかりと溝に押し込みます。



ワンポイントアドバイス

ガスケットの継ぎ目が多いと密閉度が低下することがあります。なるべく一本のガスケットを使用してください。

ガスケットの太さは、溝の太さに合わせてください。ガスケットが太すぎる、または細すぎると扉の密閉度が低下します。

7. ガスケットセメントを自然乾燥させます。ガスケットセメントの自然乾燥には、約1日かかります。

ワンポイントアドバイス

急激に乾かすとセメントがひび割れたり、はがれたりすることがあります。自然に乾燥するのを待ちましょう。